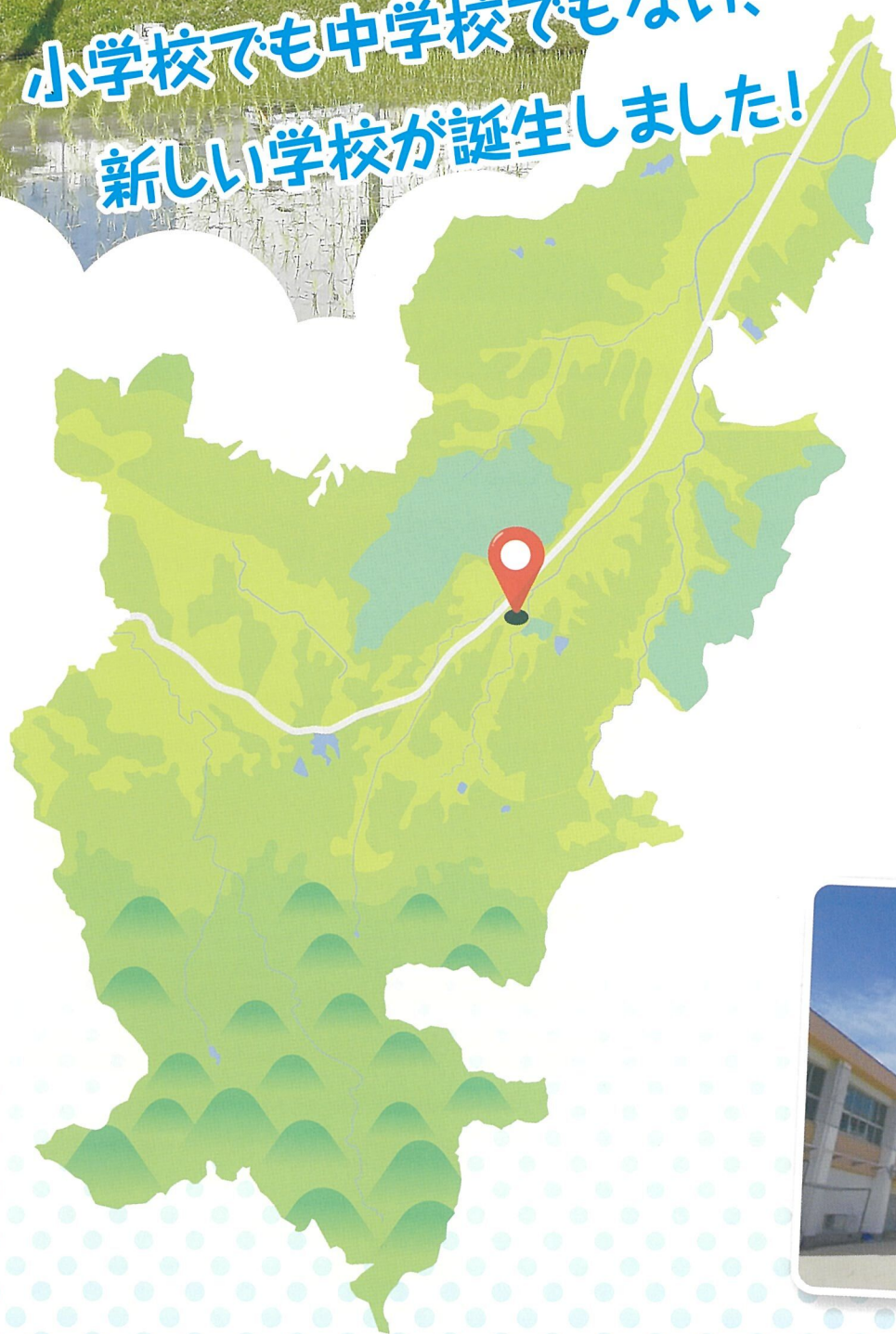




令和5年4月 義務教育学校開校

八多で学ぼう！

小学校でも中学校でもない、
新しい学校が誕生しました！



神戸市教育委員会

はじめに

令和5年4月、八多小学校と八多中学校は、農村・里山エリア初となる小中9年間一貫の「義務教育学校 八多学園」として生まれ変わりました。

近年、技術革新やグローバル化、少子高齢化の進展など、社会状況は急速に変化しています。八多町も同様に、人口減少や交通問題、農業の担い手不足など、様々な課題を抱え、大きな変革期を迎えています。

そのような中、八多の未来を担う子供たちに、歴史ある八多の風土を土台としながら、世界を見据えた特色ある教育を提供することを目的として、八多小・中の「義務教育学校化プロジェクト」はスタートしました。

中学校の先生が小学校5、6年生の授業に参加する協働授業を開始し、小規模校のメリットを最大限に活かしたきめ細かな授業を行っているほか、後期課程（7～9年生）では、全市に先駆けて給食もスタートしました。

神戸が目指すこれからの学校の姿は「人とつながり ともに創る みんなの学校」。今後も、保護者や地域の皆様と、八多だからできる、八多でしかできない、魅力あふれる学校づくりを進めていきます。

義務教育学校とは？

- 義務教育学校は、小・中9年間の学びを一貫して捉え、系統性・連続性に配慮した教育に取り組む学校です。すべての先生の温かいまなざしのもと、子供たちを9年間というゆとりある時間の中で見守ります。
- 成長過程に応じたきめ細かな教育を実践し、学力の向上等を図るとともに、生きる力を育みます。



義務教育学校のメリットって？

- 学習面では、9年後に身につけたい力を見据え、独自のカリキュラムのもと学習を進めます。特に、小学校から中学校への移行期の5、6年生においては、小・中の教員が工夫を凝らしながら子供たちの発達段階に応じた丁寧な学習指導を行うことで、学習面のつまずきにも早い段階で対応し、後期課程（7～9年生）への橋渡しをスムーズに行います。
- 情操面では、多くの先生との触れ合いや、幅広い異学年交流を通して、多様な人間関係を築くことで、豊かな社会性を育むことができます。
- 6歳から15歳の子供たちが、上級生を見て「憧れの気持ち」を抱き、下級生を見て「思いやりの心」を育む。このような日々を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成することができます。義務教育学校は、9学年のそれぞれの豊かな個性の糸が織りなす学校です。

01 小中9年間一貫の4・3・2制

ジャンプ

後期
(8～9年)

学びを深める

ステップ

中期
(5～7年)

学びの定着

ホップ

前期
(1～4年)

学びの土台作り

●4・3・2制とは、義務教育の9年間を前期（4年間）、中期（3年間）、後期（2年間）の3ブロックに区切り、9年間の学びを見据えた教育を行うほか、幅広い異学年交流により、社会性やリーダーシップを育むことができる、新しい教育システムです。

●4・3・2制の導入に伴い、5・6年生の授業時間は中学生と同じ50分になります。日々の授業において、振り返りの時間を充実させることで、学力の向上を図ります。

時 程 表

前期ブロック（1～4年生）

	通常（45分授業）	時間
朝の会・朝学	8:30～ 8:55	25
第 1 校 時	8:55～ 9:40	45
第 2 校 時	9:50～ 10:35	45
20 分 休 み	10:35～ 10:55	20
第 3 休 時	10:55～ 11:40	45
第 4 校 時	11:50～ 12:35	45
昼 食	12:35～ 13:15	40
昼 休 み	13:15～ 13:35	20
昼 清 掃	13:35～ 13:50	15
第 5 校 時	13:50～ 14:35	45
第 6 校 時	14:45～ 15:30	45
帰 り の 会	15:30～ 15:40	10

※15:40 下校

中・後期ブロック（5～9年生）

	通常（50分授業）	時間
朝の読書・朝学	8:30～ 8:50	20
第 1 校 時	8:50～ 9:40	50
第 2 校 時	9:50～ 10:40	50
10 分 休 み	10:40～ 10:50	10
第 3 休 時	10:50～ 11:40	50
第 4 校 時	11:50～ 12:40	50
昼 食	12:40～ 13:15	35
昼 休 み	13:15～ 13:35	20
昼 清 掃	13:35～ 13:50	15
第 5 校 時	13:50～ 14:40	50
第 6 校 時	14:50～ 15:40	50
S H R	15:40～ 15:50	10

※15:50 終了

02 小中教員による協働授業



- 一部の教科において、中学校教員による5・6年生への教科指導や、小学校教員と中学校教員が連携した協働授業を実施しています。義務教育学校では、9年間の連続性の中で、子供たちの学びと成長を見守ることができます。一人一人に寄り添った、きめ細かな教育を実践します。



ある木曜日の時間割例（5、6年生）

小中教員による協働授業

中学校教員による授業

校時	1	2	3	4	5	6
5年生	社会	音楽	図工	図工	算数	国語
6年生	理科	国語	算数	社会	図工	図工



協働授業を体験した

児童・教員の声

児童

教員

本物の火打石や火おこし、土器・土偶などを見ることができて良かったです。

いろいろな先生が顕微鏡の使い方や植物の栽培を手伝ってくれました。

子供たちの学びが深まりますし、教員の授業改善にもつながります。

子供によって課題の終了時間に差が生じたとき、もう一人の教員が困っている子供をピンポイントで支援することができます。

●4・3・2制の導入や小中教員の協働授業のほかにも、八多だからできる、八多でしかできない特色ある教育を実施。

「未来を拓き より良い生き方を 仲間と共に求める」八多っ子を育みます。

03 グローバル・コミュニケーション力の育成

1年生から外国語活動を実施。

あわせて異文化理解力、コミュニケーション力などを育み、ふるさとを外国語で紹介するなど、様々な取組にチャレンジします。



04 世界とつながる ICT 教育

八多から世界へ!

海外との交流授業をはじめ、ICTを積極的に活用し、情報活用能力やプレゼンテーション能力を高めます。



05 豊かな地域資源を活かした探究学習

地域の皆様の協力を得て、近隣のゴルフ場等との連携による、競技や職業体験、地域とのつながりに関する学習や、農業体験など、八多の豊かな自然、歴史、風土などを題材に「主体的・対話的で深い学び」を実施します。



保護者のみなさまへ…

八多学園では、「小規模校だからこそできる特色ある教育」を行っています。



個別最適なきめ細やかな学習指導



義務教育9年間を通じた異学年との合同学習

Q 子供一人でバス通学させることが不安です。

A 特に低学年のあいだは不安に感じられると思います。ただ、登下校とも同時間帯に通学する子がいますので、「一人でバスに乗る」ということは、ほぼありません。なお、神戸市が定める通学距離の基準を超える場合、通学に係るバスの定期代が神戸市より助成されます。

Q 子供の数が少ないことが気になります。

A クラス替えができないなど人間関係が固定化されることに不安を感じられるかもしれませんが、全職員が子供たちのことを理解した上で、一人一人の子供に応じた指導を行っています。また、多様な考え方を身につけることができるように、後期課程（7～9年生）も含めた異学年との活動や学習を多く取り入れたり、オンラインを活用して他校の子供たちと合同授業を行ったりしています。

Q 仕事をしているのですが、子供が学校で体調が悪くなったとき、すぐにお迎えにいけないのが心配です。

A 体調不良時は保護者やご家族等のお迎えをお願いしています。保健室で様子を見ていますので、慌てず落ち着いてお越しください。なお、お迎えに来られるまでに時間がかかりそうなときは、ご相談ください。

学校見学のご希望等、各種お問い合わせ先

神戸市立義務教育学校八多学園：078-982-0048・0049

お気軽に
お電話
ください。